

理想的な救助隊長像のとりまとめ等

1 現場における理想的な救助隊長像

救助活動現場において、

- ・災害現場の状況を分析し、
- ・救助資機材及び救助方法を適切に選択・決定し、
- ・現場指揮者による救助活動方針の決定を支援し、
- ・隊員に具体的に指示下命し、
- ・活動中の隊員及び要救助者の安全を常に評価、確保※し、
※) 確保には、指示の追加、方針や救助方法の変更などを含む

早期かつ安全に要救助者を救出することができる。

理想的な救助隊長像を実現するための到達目標

- ①災害現場の状況を分析できる。
- ②災害状況に応じた適切な救助資機材の選択ができる。
- ③要救助者への負担が最小限となる救助方法を選択・決定し、現場指揮者による救助活動方針の決定を支援することができる。
- ④現場指揮者による救助活動方針と決定した救助方法に基づき、隊員の技量や能力に応じた指示下命ができる。
- ⑤要救助者に配慮し、かつ、活動を分析・評価し、隊員の安全管理ができる。
- ⑥現場指揮者に活動状況を適時適切に報告できる。
- ⑦必要に応じ、関係機関等と適切に連携できる。
- ⑧事案後、救助活動を振り返り、今後の実災害や訓練に活かすことができる。

2 訓練指導における理想的な救助隊長像

訓練指導では、

- ・隊員に適した訓練を企画立案し、
- ・隊員に明確な到達目標を示し、
- ・訓練中の隊員の安全を常に確保※し、
※) 確保には、指示の追加、訓練内容や方法の変更、中止などを含む

救助活動現場において、隊長の指示下命のもと、安全・的確に行動できる隊員を育成できる。

理想的な救助隊長像を実現するための到達目標

- ①救助活動に関する法的な知識を隊員に説明することができる。
- ②訓練計画に基づき、隊員に適した訓練を企画立案できる。
- ③各隊員の技量、体力、性格に応じた明確な到達目標を設定できる。
- ④災害状況に応じた救助方法（資機材や各種救助法の組み合わせ）について指導できる。
- ⑤訓練時の安全管理や危険予測、危険排除について、具体的な指示、準備を行うことができる。
- ⑥訓練実施後は、必ず評価、講評（褒める、認める、課題の提示等）を行い、技術の定着と練度を向上させることができる。

3 理想的な救助隊長としてのマインド（意識）

具体的な救助技術、知識、人材育成の支援手法を身に付けていることを前提に、

- ・ 高い使命感と責任感、強いリーダーシップ、広い視野を持ち、
- ・ 救助人材の育成と救助隊の成長に情熱的かつ積極的に尽力し、

いかなる状況であっても「人を救い、助け、守る」ために最善を尽くすことができる救助隊を作り上げ、救助隊長としての誇り、自信、自制心を貫くことができる。

理想的な救助隊長としてのマインド（意識）を構成する要素

- ①自らが、自らを律し、周りから信頼される救助隊長としての役割、救助技術、知識及び人材育成支援手法について、常に学び続けることができる。
- ②隊員の、有能感を高めることができる。
- ③隊員の、自律性を高めることができる。
- ④隊員に、内発的動機付けを促進することができる。
- ⑤隊員に、良い学習機会を与えることができる。
- ⑥隊員に、心理的に安全な場所を提供できる。
- ⑦全隊員で、救助隊は、誰のために、何のために、どういう存在であり続けるのかを考え、その認識を共有することができる。